

秋のなかよし交流会 閉会あいさつ

行永分校副校長 堀江 嘉明

三笠小学校の皆さん、そして行永分校の皆さん
本日のなかよし交流会おつかれさまでした。

さて、両校の絆を深めることとなるこの素晴らしい取組はいろいろ形を変えながら、春と秋の2回に実施し、友情の輪をさらに深めています。

また、三笠小学校の上級生の先輩から下級生の後輩へと「パセロリサラダ」のバトンを引き継いでいるとも聞いています。

皆さんがやがて大人になるころには障害のあるなしを問わず、誰もが一緒に心のバトンをつなぎ、ともに協力していきながら誰もが笑顔あふれる社会にしていけることが求められています。このような世界を「共に生きる」つまり「共生社会」といいます。

今回のなかよし交流会は「共生社会」をつくるための準備、基礎となる勉強です。このことを心の中にしっかりと残してほしいと願っています。

まもなく2学期最後の月である12月を迎えます。三笠小学校の皆さん、行永分校の皆さん、昨日のポカポカ陽気から一変して、次第に寒さが厳しくなるとも予想されていますが、寒さに負けず、元気でそれぞれ、充実した学校生活を過ごしていきましょう。

以上であいさつを終わります。